

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）
「運動失調症の病態解明と治療法開発に関する研究」班
平成 25 年度班会議プログラム

日時：平成 26 年 1 月 8 日（水）12:50～15:45
1 月 9 日（木）9:00～16:40

会場：都市センターホテル 6 階 606 号室
東京都千代田区平河町 2-4-1
TEL: 03-3265-8211

研究代表者 佐々木 秀直

（事務局） 〒060-8638
札幌市北区北 15 条西 7 丁目
北海道大学大学院医学研究科 神経内科学
TEL: 011-706-6028、FAX: 011-700-5356
E-mail: info_ataxia@pop.med.hokudai.ac.jp

第1日目

1月8日(水)

12:50 開会の挨拶

研究代表者 佐々木秀直

13:00-14:05 セッション

座長: 宮井一郎(森之宮病院)

13:00-13:15

1. 進行性病態を有す神経難病、特に SCD に対するリハビリテーション再考：複雑系の視点で

ゆあきたつひこ
湯浅龍彦¹、大宮貴明¹、森田正寿¹、森崎恵子²

鎌ヶ谷総合病院千葉神経難病医療センター・難病脳内科¹、鎌ヶ谷総合病院リハビリ室²

13:15-13:30

2. 重症 SCD 患者に対する免荷式リフト (POPO:REH-100®) の使用経験

湯浅龍彦¹、おおみやたかあき
大宮貴明¹、浦井亜矢子²

鎌ヶ谷総合病院千葉神経難病医療センター・難病脳内科¹、
大和ハウス工業株式会社ヒューマン・ケア事業推進部²

13:30-13:45

3. 脊髄小脳変性症のホームエクササイズの効果について

ちゅうまたかよ
中馬孝容¹、二村直伸²、松村隆介³、高柳哲也⁴

滋賀県立成人病センターリハビリテーション科¹、国立病院機構兵庫中央病院神経内科²、
国立病院機構奈良医療センター神経内科³、奈良県立医科大学名誉教授⁴

13:45-14:00

4. 脊髄小脳変性症に対する間歇的集中リハビリテーションの転帰

みやいいちろう
宮井一郎、服部憲明

森之宮病院神経リハビリテーション研究部

14:00-14:05

【総合討論】

14:05-14:55 セッション

座長：辻 省次（東京大学神経内科）

14:05-14:20

5．常染色体劣性遺伝性痙性対麻痺の新規原因遺伝子探索

嶋崎晴雄¹、本多純子¹、直井為任¹、滑川道人¹、松浦 徹¹、石浦浩之²、三井 純²、
後藤 順²、辻 省次²、吉村 淳³、土井晃一郎³、森下真一³、瀧山嘉久⁴
自治医科大学神経内科¹、東京大学神経内科²、東京大学大学院新領域創成科学、
山梨大学神経内科³

14:20-14:35

6．常染色体劣性遺伝が疑われた遺伝性痙性対麻痺 88 例の exome 解析

石浦浩之¹、高 紀信²、嶋崎晴雄³、三井 純¹、高橋祐二¹、後藤 順¹、吉村 淳⁴、
土井晃一郎⁴、森下真一⁴、佐々木秀直⁵、瀧山嘉久²、辻 省次¹、JASPAC⁶
東京大学神経内科¹、山梨大学神経内科²、自治医科大学神経内科³、
東京大学新領域創成科学研究科⁴、北海道大学神経内科⁵、
Japan Spastic Paraplegia Research Consortium⁶

14:35-14:50

7．痙性対麻痺の診断基準の提案

三輪道然¹、高 紀信²、長坂高村³、新藤和雅⁴、瀧山嘉久⁵
山梨大学医学部神経内科学講座

14:50-14:55

【総合討論】

14:55-15:45 セッション

座長：西澤正豊（新潟大学脳研究所神経内科）

14:55-15:10

8．Boucher-Neuhauser 症候群の原因遺伝子探索

高 紀信¹、小林史和²、三輪道然³、新藤和雅⁴、瀧山嘉久⁵
山梨大学医学部神経内科学講座

15:10-15:25

9．南九州地域における小脳失調症の多様な原因とその治療

樋口雄二郎¹、東 桂子²、吉村明子³、西郷隆二⁴、平野隆城⁵、崎山祐介⁶、岡本裕嗣⁷、
大窪隆一⁸、高嶋 博⁹
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 神経内科・老年病学

15:25-15:40

10 . 脊髄小脳失調症 36 型 (Asidan) の神経病理学的検討

ひしかわ のぞみ¹、池田佳生²、劉 文涛¹、山下 徹¹、出口健太郎¹、阿部康二¹
岡山大学大学院脳神経内科学¹、群馬大学大学院脳神経内科学²

15:40-15:45

【総合討論】

15:45-16:00

【coffee break】

16 時 00 分より 2013 年小脳研究会が予定されています。

9:00-9:15

11. Machado-Joseph 病、脊髄小脳失調症 6 型の自然史に関する多施設共同研究(2013 年度報告)

中島健二¹、安井建一¹、矢部一郎²、佐々木秀直²、新井公人³、澤井 撰⁴、桑原 聡⁴、吉田邦広⁵、伊藤瑞規⁶、祖父江 元⁶、小野寺 理⁷、西澤正豊⁸

鳥取大学脳神経内科¹、北海道大学神経内科²、千葉東病院神経内科³、千葉大学神経内科⁴、信州大学第三内科⁵、名古屋大学神経内科⁶、

新潟大学脳研究所分子神経疾患資源解析学分野⁷、新潟大学神経内科⁸

9:15-9:30

12. 脊髄小脳失調症 31 型の自然史 多施設共同前向き調査(第一報)

吉田邦広¹、中村勝哉²、宮崎大吾³、佐藤充人⁴、兼子一真⁵、清水雄策⁶、佐藤俊一⁷、矢彦沢裕之⁵、森田 洋³、大原慎司⁸、矢澤正信⁹、牛山雅夫¹⁰、井上 敦¹¹、池田修一³

信州大学神経難病学講座¹、信州大学遺伝子診療部²、

信州大学脳神経内科、リウマチ・膠原病内科³、佐久総合病院神経内科⁴、

諏訪赤十字病院神経内科⁵、伊那中央病院神経内科⁶、長野赤十字病院神経内科⁷、

NHO まつもと医療センター中信松本病院神経内科⁸、富士見高原病院神経内科⁹、

健和会病院神経内科¹⁰、長野県立木曽病院神経内科¹¹

9:30-9:45

13. 北海道における多系統萎縮症の疫学的実態：HoRC-MSA プロジェクト

佐久嶋 研¹、西本尚樹²、野島正寛³、松島理明¹、矢部一郎¹、佐藤典宏²、森 満³、佐々木秀直¹

北海道大学神経内科¹、北海道大学病院高度先進医療支援センター²、札幌医科大学公衆衛生³

9:45-10:00

14. 多系統萎縮症における症状評価スケールの比較(第2報)

松島理明¹、矢部一郎¹、佐久嶋 研¹、大庭幸治²、水戸泰紀³、武井麻子⁴、保前英希⁵、津坂和文⁶、吉田一人⁷、丸尾泰則⁸、佐々木秀直¹

北海道大学神経内科¹、北海道大学病院高度先進医療センター²、市立札幌病院神経内科³、

北祐会神経内科病院⁴、帯広厚生病院神経内科⁵、釧路労災病院神経内科⁶、

旭川赤十字病院神経内科⁷、市立函館病院神経内科⁸

10:00-10:05

【総合討論】

10:05-11:10 セッション

座長：祖父江 元（名古屋大学神経内科）

10:05-10:20

15．多系統萎縮症と脊髄小脳変性症の鑑別における髄液サイトカインの意義

吉良潤一¹、^{おおやぎやすまさ}大八木保政²、山崎 亮²、山口浩雄¹、吉浦 敬³

九州大学大学院医学研究院 神経内科学¹、同 神経治療学²、同 臨床放射線科学³

10:20-10:35

16．神経画像と自律神経機能検査を用いたMSAの早期診断

桑原 聡¹、^{すぎやまあつひこ}杉山淳比古¹、横田 元²、別府美奈子¹、澤井 撰¹、山本達也¹、
伊藤彰一¹、朝比奈正人¹

千葉大学大学院医学研究院神経内科学¹、千葉大学医学部附属病院放射線科²

10:35-10:50

17．新しい拡散強調画像を用いた多系統萎縮症における上小脳脚病変の検討

^{はら かずひろ}原 一洋¹、伊藤瑞規¹、坪井 崇¹、渡邊はづき¹、中村亮一¹、千田 譲¹、
熱田直樹¹、渡辺宏久^{1,2}、饗場郁子³、長縄慎二⁴、祖父江 元¹

名古屋大学神経内科¹、名古屋大学 脳とこころの研究センター²、
東名古屋病院神経内科³、名古屋大学放射線科⁴

10:50-11:05

18．拡散尖度画像と定量的磁化率画像を用いた運動失調症の早期鑑別診断法の検討

佐々木真理¹、^{いとうけんじ}伊藤賢司¹、大塚千久美²、上野育子¹、寺山靖夫²

岩手医科大学 医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門¹、
岩手医科大学 内科学講座 神経内科・老年科分野²

11:05-11:10

【総合討論】

11:10-12:00 セッション

座長：水澤英洋（東京医科歯科大学神経内科）

11:10-11:25

19．パーキンソン病の家族歴を有する多系統萎縮症患者におけるCOQ2変異解析

^{かないかずあき}金井数明、三笠道太、李 元哲、西岡健弥、舷山 学、富山弘幸、服部信孝
順天堂大学脳神経内科

11:25-11:40

20．多系統萎縮症の疾患関連遺伝子の探索

三井 純¹、^{まつかわなかし}松川敬志¹、石浦浩之¹、市川弥生子¹、後藤 順¹、JAMSAC²、辻 省次¹
東京大学神経内科¹、JAMSAC²

11:40-11:55

21．ゲノムコピー数多型による多系統萎縮症発症要因の解析

^{ささききひでなお}佐々木秀直¹、浜 結香¹、松島理明¹、矢部一郎¹、瀧川一学²、内海 潤³
北海道大学 神経内科¹、同 創成研究機構研究部²、公益財団法人 がん研究会³

11:55-12:00

【総合討論】

12:00-12:05

【事務連絡】

12:05-12:50

【昼食】

12:50-14:10 セッション

座長：宇川義一（福島県立医科大学神経内科）

12:50-13:05

22．小脳失調症のリズム解析評価の試み（第2報）

中島健二¹、^{やすいけんいち}安井建一¹、田尻佑喜¹、吉田邦広²
鳥取大学脳神経内科¹、信州大学第三内科²

13:05-13:20

23．iPatax：小脳性運動失調の新たな定量評価法～第2報～

西澤正豊¹、^{ただまさよし}他田正義¹、徳永 純¹、永井貴大¹、小野寺 理²
新潟大学脳研究所 神経内科¹、同 分子神経疾患資源解析学²

13:20-13:35

24．プリズム適応を用いた小脳機能の定量評価法の開発とその臨床的応用

水澤英洋¹、^{はしちとゆうじ}橋本祐二¹、本多武尊¹、曾我一将¹、永雄総一²、石川欽也¹
東京医科歯科大学大学院脳神経病態学¹、理化学研究所脳科学総合研究センター²

13:35-13:50

25．従来の小脳症状とプリズム順応の関係

花島^{はなしまりつこ}律子¹、大南伸也¹、堤 涼介¹、清水崇弘¹、田中信行¹、寺尾安生¹、宇川義一²
東京大学医学部附属病院神経内科¹、福島県立医科大学神経内科²

13:50-14:05

26．小脳機能評価のための心理物理検査と構造画像の相関解析

吉田^{よしだあつし}篤司¹、松嶋藻乃¹、伊藤さやか²、Sergey Kurkin¹、矢部一郎²、佐々木秀直²、
田中真樹¹
北海道大学医学部 神経生理学分野¹、同 神経内科学分野²

14:05-14:10

【総合討論】

14:10-15:15 セッション

座長：武田 篤(国立病院機構西多賀病院)

14:10-14:25

27．多系統萎縮症における tublin polymerization promoting protein (TPPP/p25) の細胞内局在変化

水澤英洋¹、太田^{おおたきよみ}浄文¹、尾崎 心¹、他田真理²、柿田明美³、高橋 均²、石川欽也¹
東京医科歯科大学大学院脳神経病態学¹、新潟大学脳研究所病態神経科学部門病理学²、
新潟大学脳研究所脳疾患標本資源解析学³

14:25-14:40

28．小胞輸送系 ESCRT 障害と脳内異常蛋白蓄積・神経変性の関連

長谷川^{はせがわたかみ}隆文¹、大嶋龍司^{1,2}、田中伸幸²、菅野直人¹、菊池昭夫¹、青木正志¹、
武田 篤³
東北大学大学院医学系研究科 神経内科学分野¹、
宮城県立がんセンター研究所 がん先進治療開発研究部²、
国立病院機構西多賀病院 神経内科³

14:40-14:55

29 . Sigma-1 receptor (SIGMAR1) の蓄積は種々の神経変性疾患の核内封入体に共通する

三木康生¹、森 文秋¹、今 智矢¹、丹治邦和¹、豊島靖子²、吉田眞理³、
佐々木秀直⁴、柿田明美⁵、高橋 均²、若林孝一¹

弘前大学大学院医学研究科脳神経病理学講座¹、新潟大学脳研究所病理学分野²、
愛知医科大学加齢医科学研究所³、北海道大学神経内科⁴、
新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター⁵

14:55-15:10

30 . 異常タンパク質蓄積をオートファジーによって制御するための標的探索

貫名信行^{1,2}、黒沢 大²、松本 弦²

順天堂大学大学院医学研究科 神経変性疾患病態治療探索講座¹、
理化学研究所視床発生研究チーム²

15:10-15:15

【総合討論】

15:15-16:35 セッション

座長：小野寺 理（新潟大学脳研究所 分子神経疾患資源解析学）

15:15-15:30

31 . 脊髄小脳失調症 1 型における複製依存的 DNA 修復の関与

田村拓也¹、Sam S Barclay²、伊藤日加瑠¹、藤田慶大¹、田川一彦¹、島村徹平³、
勝田明寿香⁴、塩飽裕紀¹、曾根雅紀⁴、井元清哉³、宮野 悟³、岡澤 均¹

東京医科歯科大学難治疾患研究所 神経病理学分野¹、
インペリアル・カレッジ・ロンドン²、
東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター DNA 情報解析分野³、
東邦大学理学部生物分子科学科 分子生物学部門⁴

15:30-15:45

32 . SCA1 ノックインマウスでは発症前からシナプス成熟が遅滞している

永井義隆、畑中悠佑、和田圭司

国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第四部

15:45-16:00

33 . 脊髄小脳変性症 1 型モデルマウス神経障害に対する間葉系幹細胞の治療効果

なかむらかずひろ
中村和裕、平井宏和

群馬大学大学院医学系研究科神経生理学分野

16:00-16:15

34 . 疾患モデル線虫を用いたポリグルタミン病の新規治療薬の開発

小野寺 理¹、とくなが じゅん徳永 純²、他田正義²、藤田菜摘²、西澤正豊²

新潟大学脳研究所 分子神経疾患資源解析学分野¹、同 神経内科²

16:15-16:30

35 . 脊髄小脳変性症 13 型 (SCA13) の病態解明

ひらいひろかず
平井宏和¹、入江智彦^{1,2}、松崎泰教¹、中村和裕¹

群馬大学大学院医学系研究科神経生理学分野¹、国立医薬品食品衛生研究所 薬理部²

16:30-16:35

【総合討論】

16:35 **閉会の挨拶**